最終更新日：2017年9月5日

一般利用者用Webサービス

コンテンツ更新手順書

Windows版（WinSCP利用）

岐阜大学　情報連携統括本部

（暫定版）

■はじめに

■WinSCPについて

WinSCPは通信内容の暗号化に対応したファイル転送クライアントソフトウェアです。
情報連携統括本部が管理しているWebサーバは、ファイル転送方式としてFTPESを採用してます。このためWindows用ファイル転送クライアントソフトウェアとしてはWinSCPをお勧めいたします。

■設定を行うための準備

以下のものが必要となりますので、事前にご確認・ご用意ください。

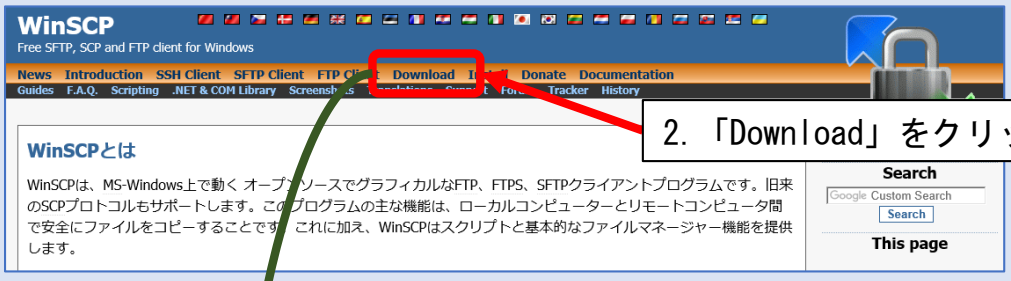
・お使いのアカウント情報（ユーザID・パスワード）
・岐阜大学キャンパス情報ネットワークに接続できるパソコン
（※OpenLANからはできません。）

■注意事項

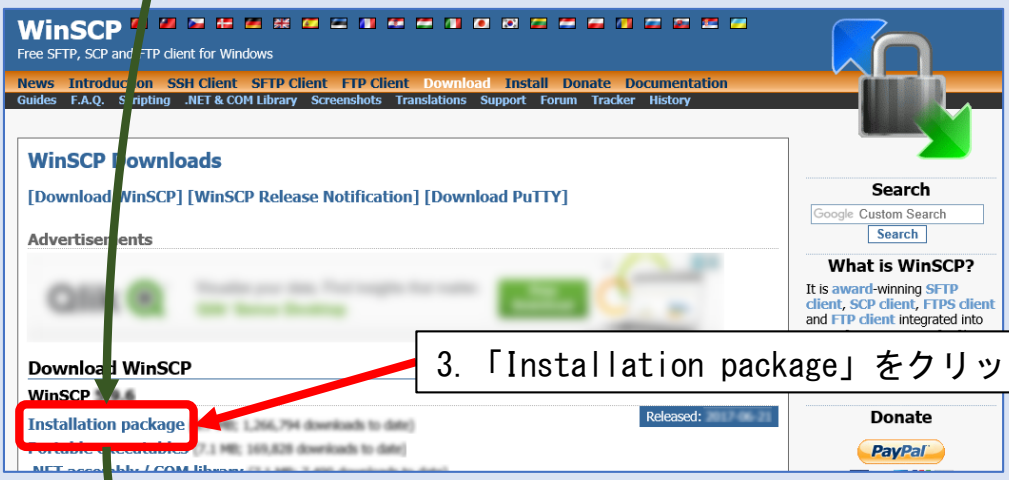
（１）本学関係規程及び著作権法等の関係諸法規を遵守してご利用ください。
（２）違法行為や倫理的に問題のある行為，トラブル等が発覚した場合，違反者個人がその責任を負うことになります。
（３）その他、ご利用中に生じた損失や損害等に関して、情報連携統括本部では責任を負いかねます。あらかじめご了解ください。
（４）マニュアル作成時のWinSCPのバージョンは「5.9.6」です。
バージョンによってはマニュアル中の画像と実際の画面が異なる場合がありますのでご注意ください。
（５）マニュアルで使用している画面はすべて初期設定になってます。
画面等をカスタマイズされている場合、場所等が変わっている可能性がありますので、ご注意ください。
（６）岐阜大学学内にて管理・運用しているサーバについては、学外からFTP接続を行うことはできません。FTPによるデータ転送等を行う場合は必ず学内から行ってください。

（1）WinSCPの入手

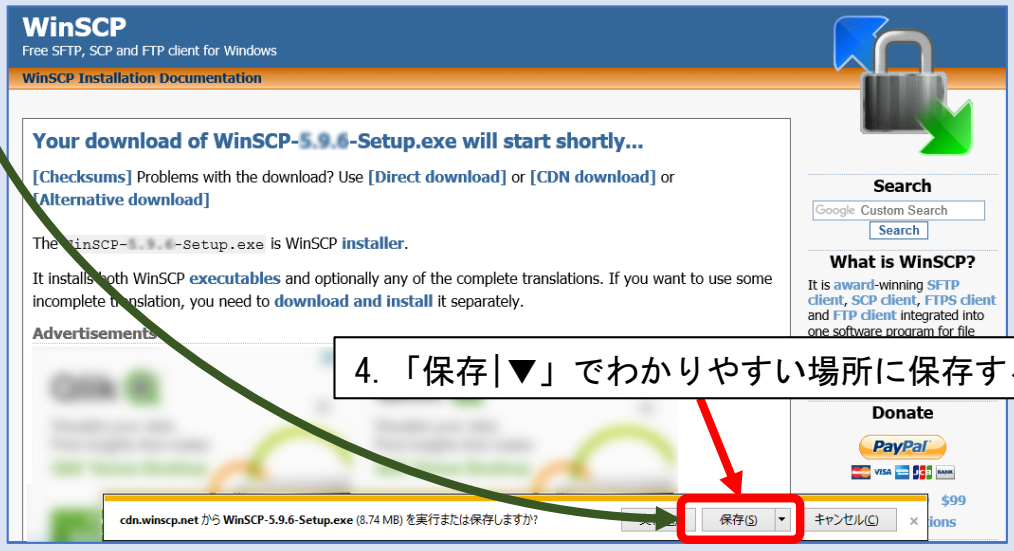
1. 公式サイト[https://winscp.net/eng/docs/lang:jp]にアクセスする



2. 「Download」をクリック



3. 「Installation package」をクリック



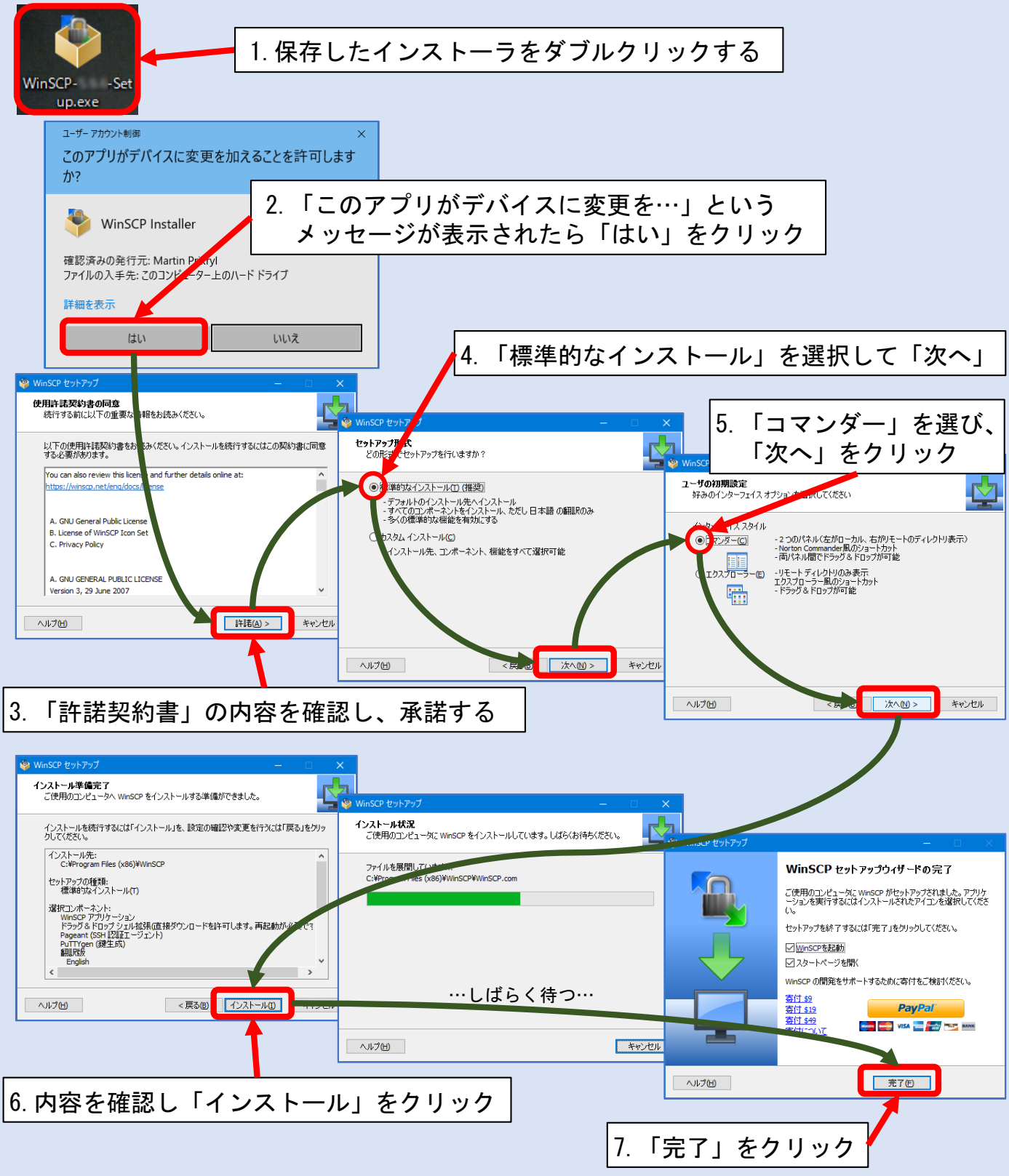
4. 「保存|▼」でわかりやすい場所に保存する

■インストーラのダウンロードについて■

インストーラのダウンロードは公式サイト以外のダウンロードサイトからも可能です。
しかし、一部のダウンロードサイトでは、コンピュータウィルスやスパイウェアなど、お使いのパソコンに対して悪影響を与えるものをセットにしてダウンロードさせる悪質サイトや、無害でも関係のないソフトウェアをセットにしてダウンロードさせるサイトもあります。
最新バージョンをダウンロードできるという保証もないため、必ず公式サイトか、または公式サイトが推奨するダウンロードサイトからダウンロードしてください。

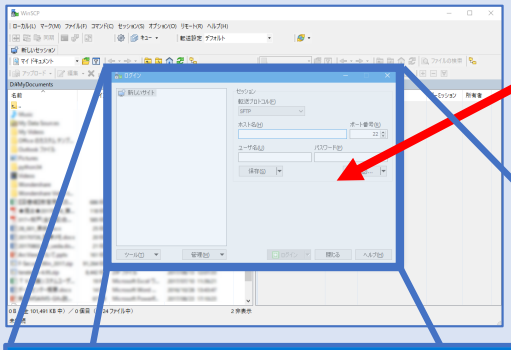
（2）WinSCPのインストール

■基本的なインストール手順



（3）初期設定を行う

■Webサーバに接続するための設定を行う

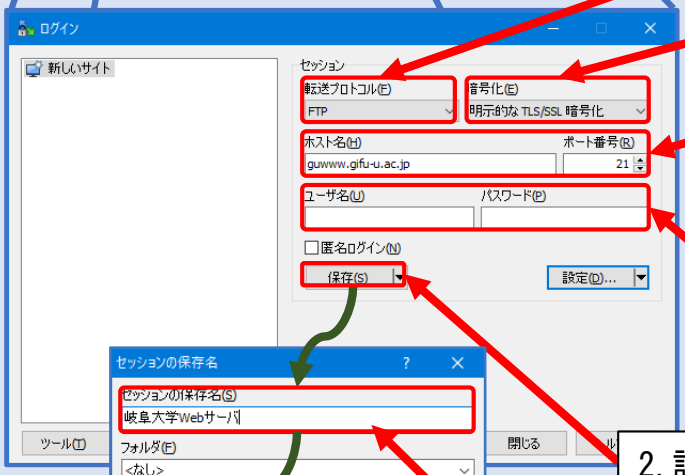


1. 起動時にログイン画面が表示されるので、「新しいサイト」をクリックして設定を行う。

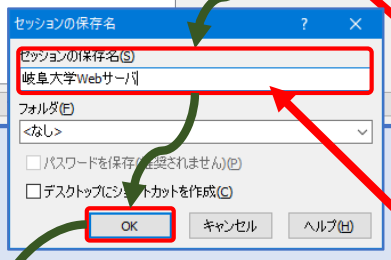
設定項目

- 転送プロトコル：FTP
- 暗号化：明示的なTLS/SSL暗号化
- ホスト名　：guwww.gifu-u.ac.jp
  ポート番号：21
- ユーザ名　：　（　空　欄　）
  パスワード：　（　空　欄　）

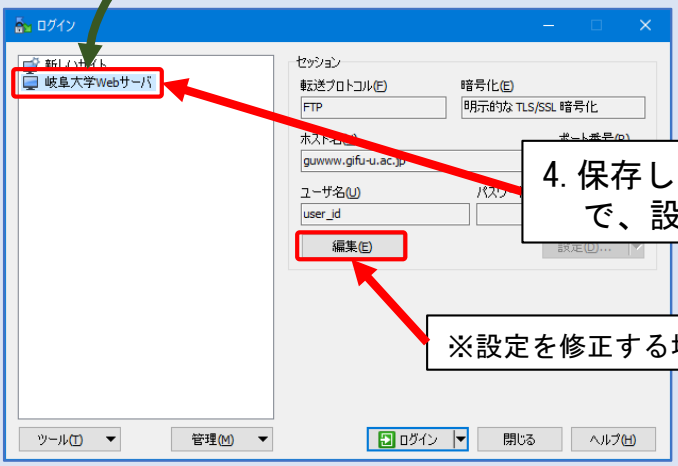
※安全のため、パスワード等は入力しないでください。



2. 設定が終わったら「保存」をクリック



3. 「セッションの保存名」にわかりやすい名前を付けて「OK」をクリック



4. 保存した設定が左側のメニューに表示されるので、設定を選択して内容を確認して終了。

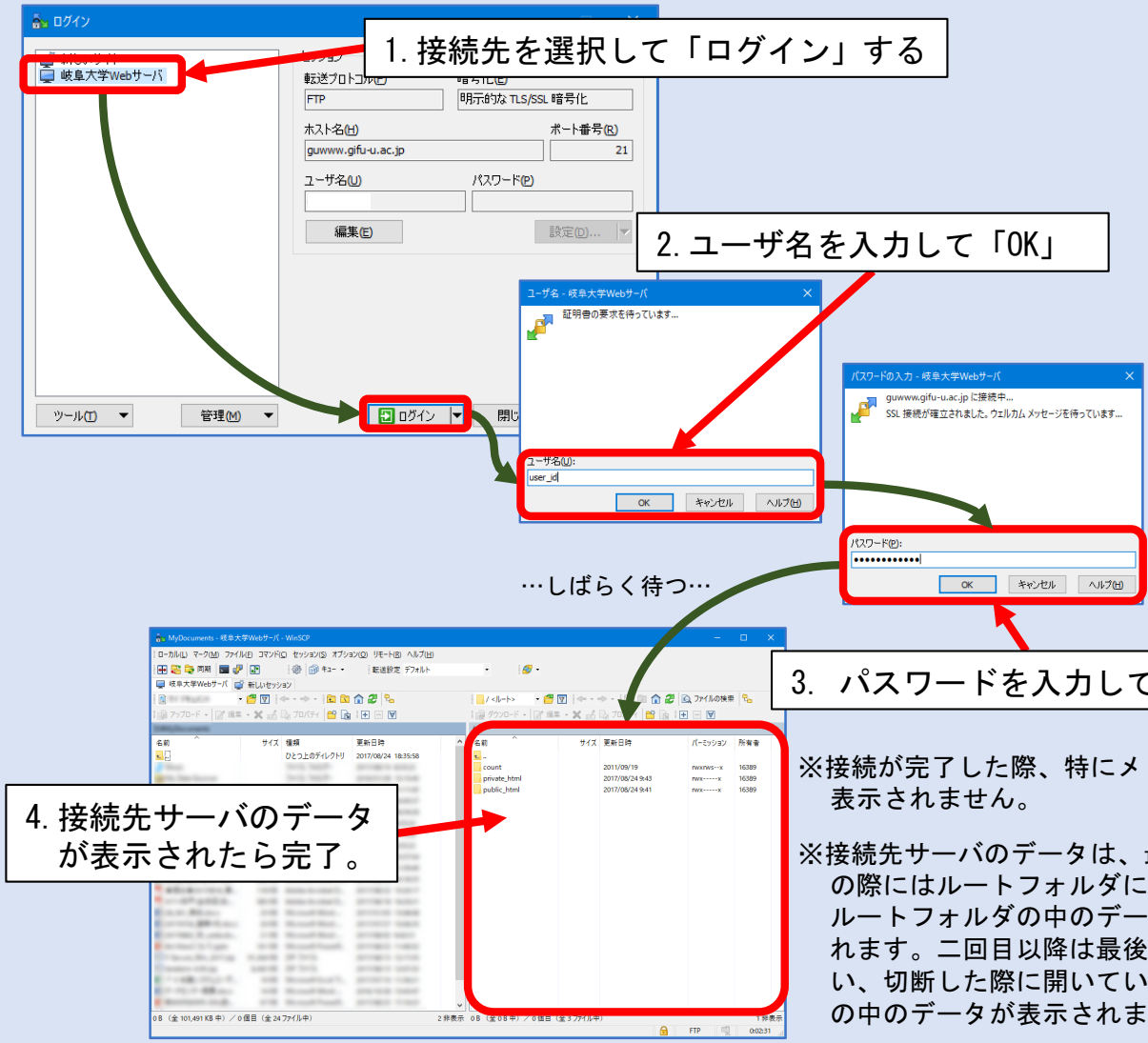
※設定を修正する場合は「編集」をクリックして修正してください。

■設定について■

この設定は情報連携統括本部が提供しているWeb公開サービスにて運用しているWebサーバに接続するための設定です。研究室で管理・運用されているサーバ等の場合は、それに合わせて設定を行ってください。

（4）Webサーバへの接続

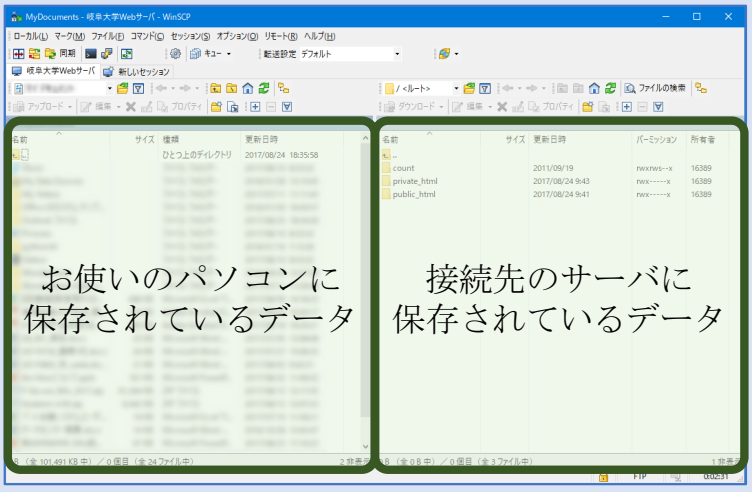
■Webサーバへ接続する場合



※接続が完了した際、特にメッセージは表示されません。

※接続先サーバのデータは、最初の接続の際にはルートフォルダに接続され、ルートフォルダの中のデータが表示されます。二回目以降は最後に作業を行い、切断した際に開いていたフォルダの中のデータが表示されます。

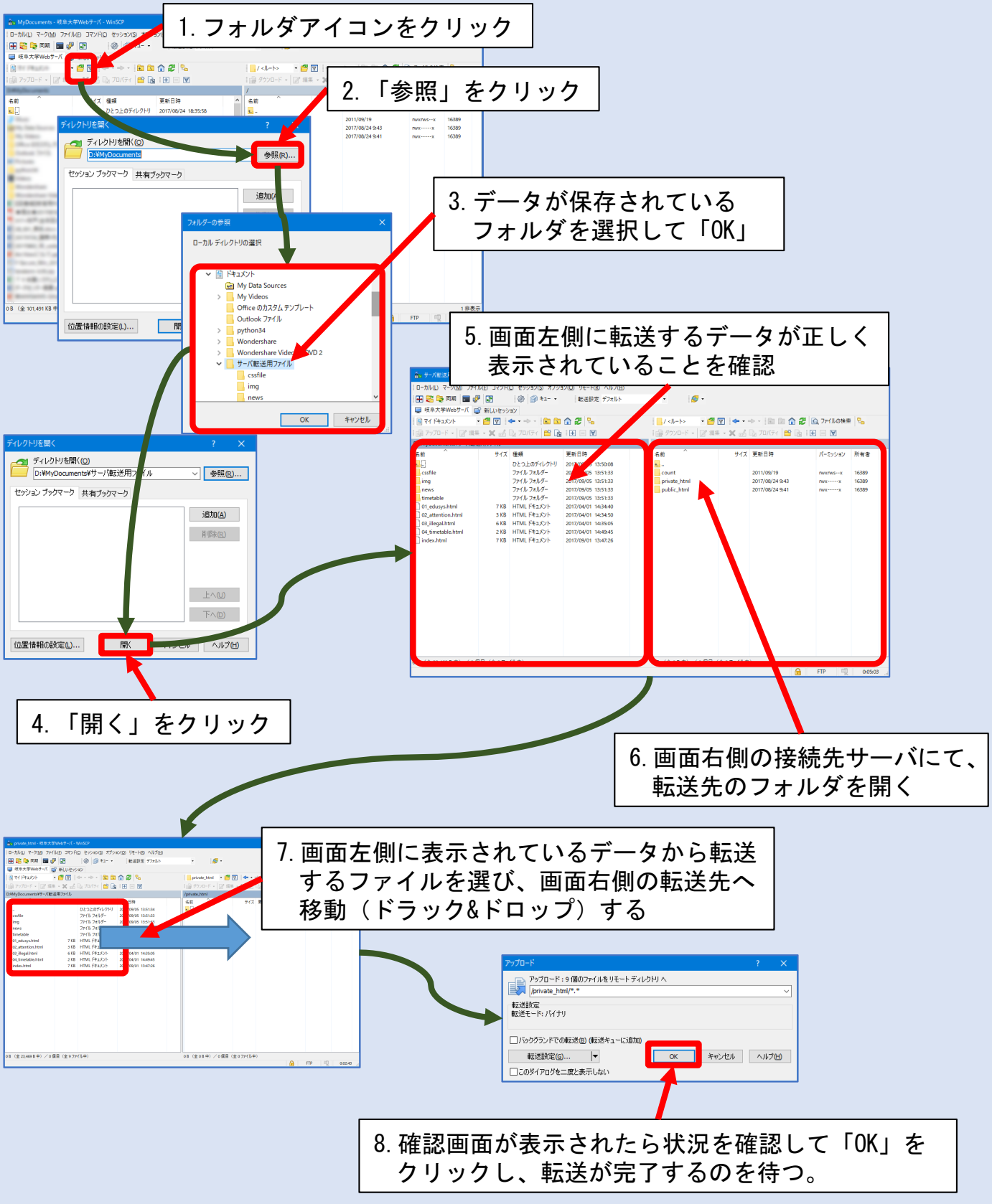
■WinSCPの画面について



※WinSCPでは、画面左側にお使いのパソコンに保存されているデータ、画面右側に接続先サーバに保存されているデータが表示されます。

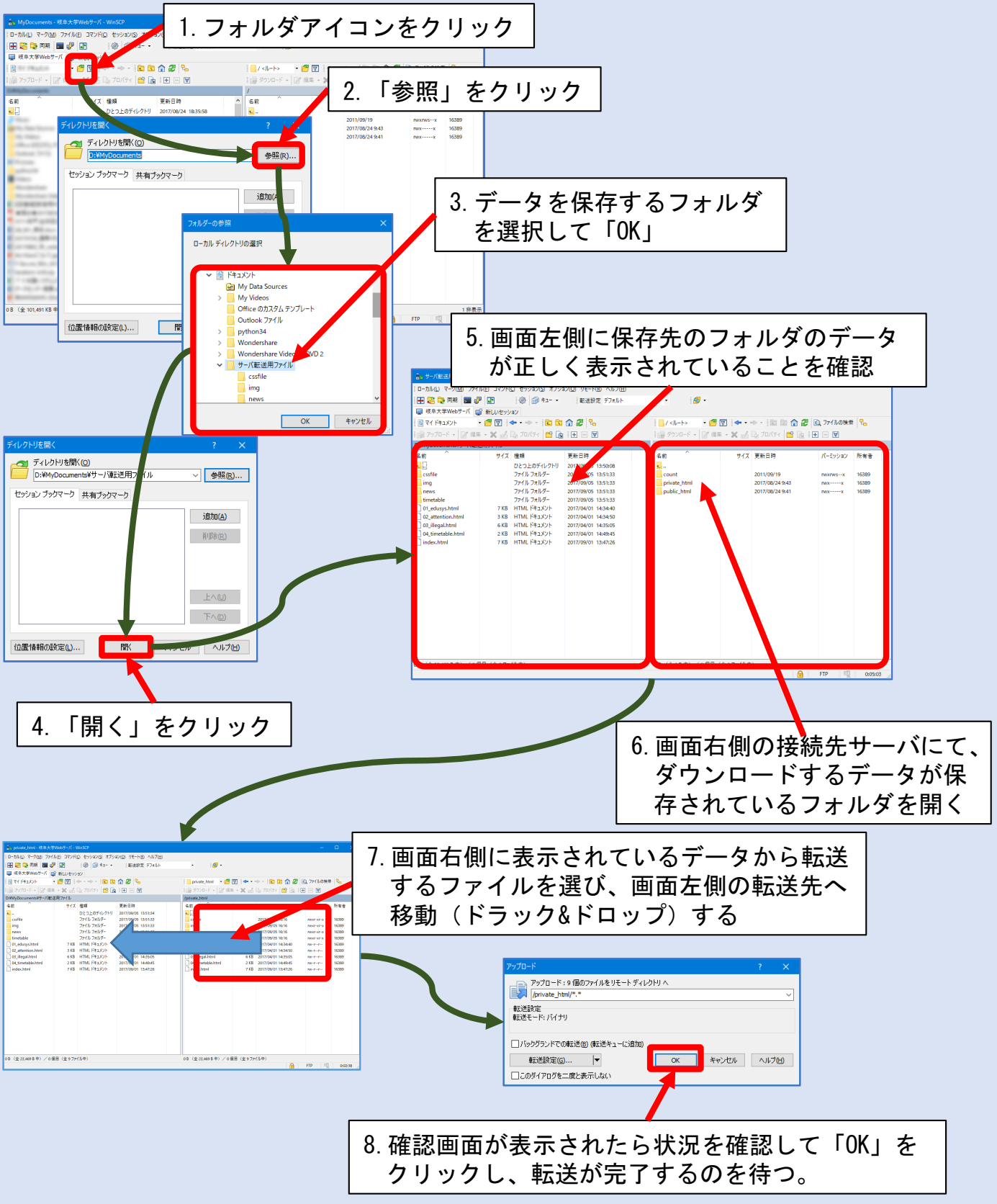
（5）WinSCPの使い方

■パソコンからWebサーバへデータを転送（アップロード）する場合



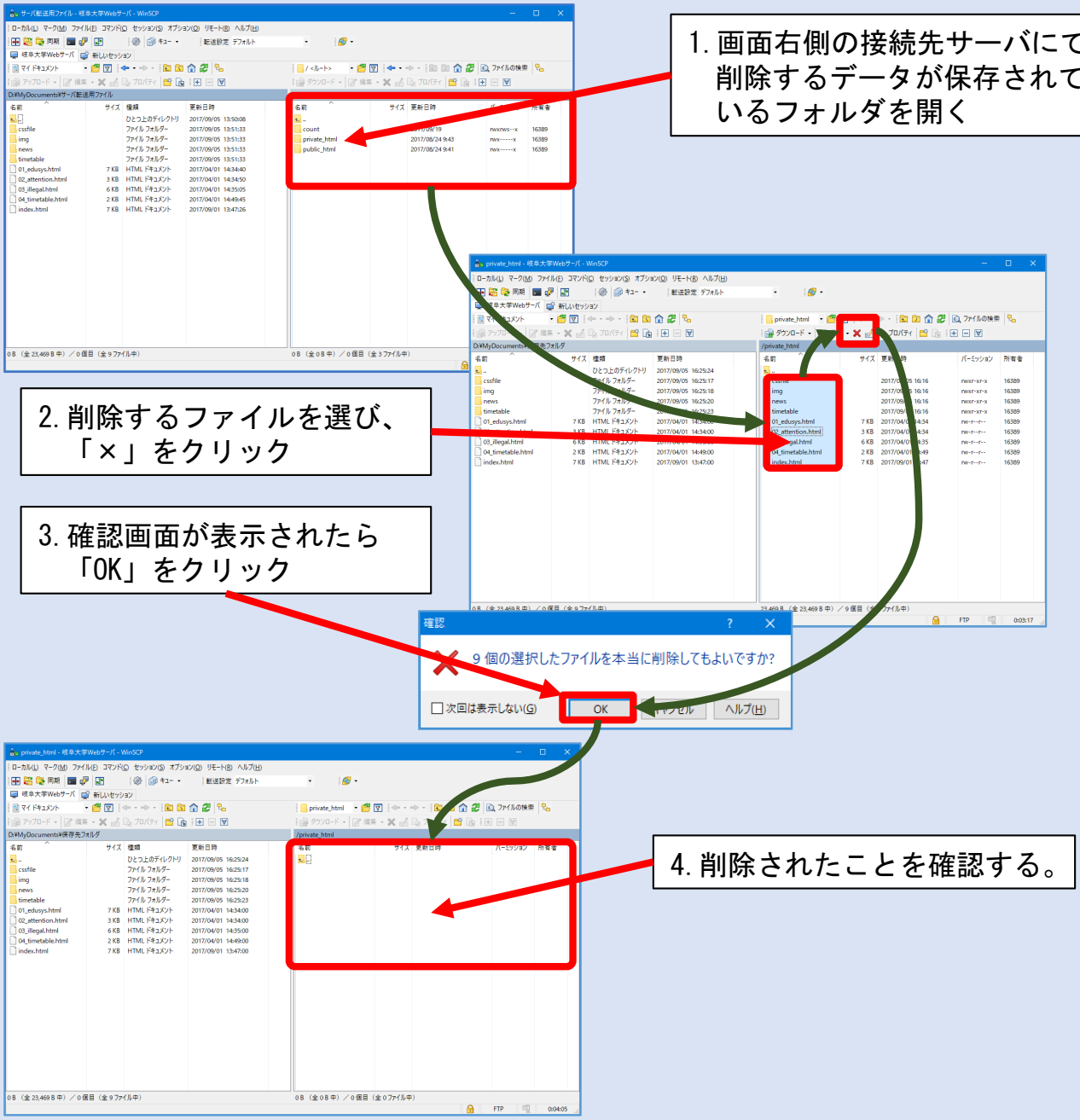
（5）WinSCPの使い方

■Webサーバからパソコンへデータを転送（ダウンロード）する場合



（５）WinSCPの使い方

■Webサーバからデータを削除する場合



■データを削除するときの注意■

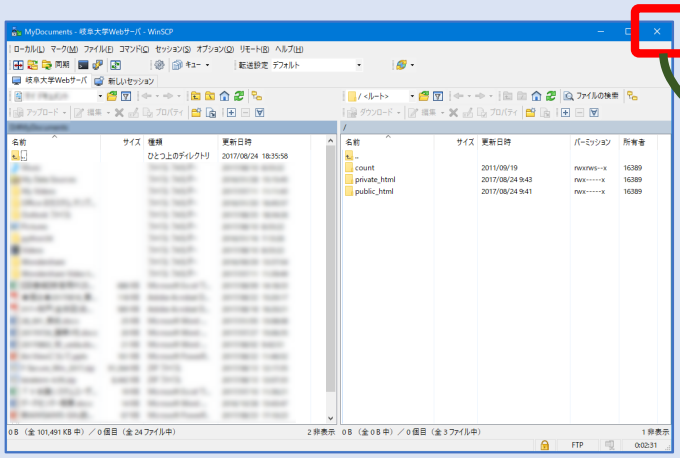
情報連携統括本部が提供しているWeb公開サーバにはWeb公開のために必要な以下２つのフォルダが作成されています。これらは削除しないでください。

- public_html　：学外公開用データを保存するためのフォルダ
- private_html：学内公開用データを保存するためのフォルダ

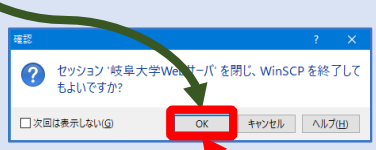
なお、一度削除してしまったデータは二度と復旧することはできませんので、慎重に操作を行ってください。また、フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルも全て削除されます。

（６）Webサーバとの切断

■Webサーバから切断する場合



1. 終了するときは「×」をクリック



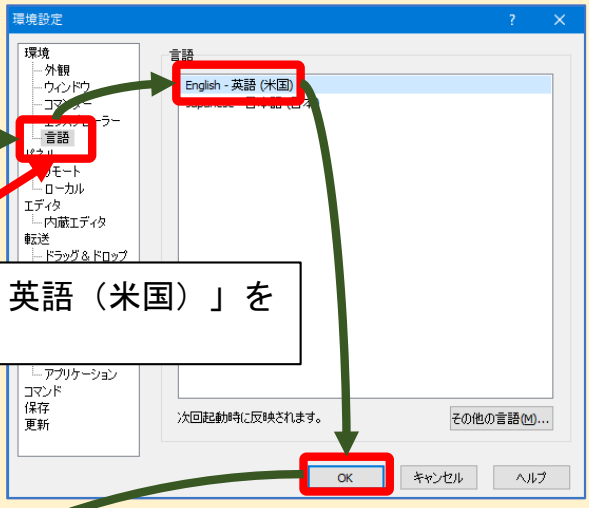
2. 終了の確認メッセージが表示されたら「OK」をクリックして終了。

（7）トラブルについて

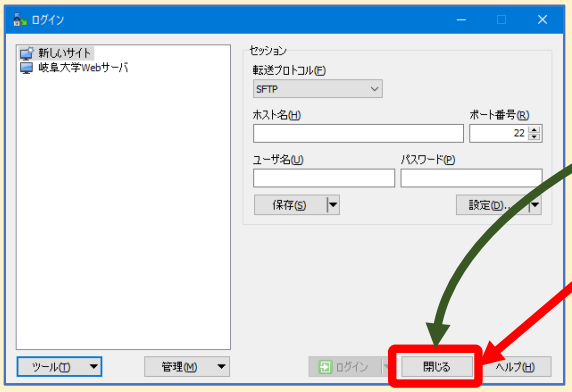
■頻繁に強制終了する場合

WinSCPは日本語にも対応しておりますが、お使いのバージョンによっては使用中、または接続してから一定時間が経過すると左図のようなエラー画面が表示され、強制終了されてしまう場合があります。
この場合、言語設定を日本語から英語に切り替えることによって、エラーを回避できる可能性がありますので、エラーが頻発する場合は以下の手順で言語の切替をお試しください。

1. WinSCPを起動し、ログイン画面が表示されたら「ツール」をクリックし、「環境設定」を選択する



2. 「言語」を選び、「English – 英語（米国）」を選択して「OK」をクリック



3. 「閉じる」をクリックしてWinSCPを終了し、再度起動させる。